

2023年 8月21日(月)
15:00 - 16:55会場：ライフサイエンスハブウエスト
大阪府中央区備後町4-1-3
御堂筋三井ビルディング4F

オンライン：zoomウェビナー使用

製薬業界を含むライフサイエンス分野では、グローバルな場でのオープンイノベーションの成功がビジネス拡大の重要な要素となっています。そういった状況を考慮し、大阪府ではライフサイエンス海外ビジネス展開等支援事業において、海外企業との商談会を開催しています。

本セミナーはその事業の関連イベントとして、海外展開をめざす会社支援を目的に開催するセミナーです。今後の海外展開を含む皆様のビジネスに役立てていただくために、是非、本セミナーをご視聴ください。

第1部

医薬品創出において日本人が 海外に展開していくためには？

講師：本田 孝雄 氏

イーライリリー株式会社

コーポレートビジネスディベロップメント リリーベンチャーズジャパンアンドアジア シニアダイレクター



第2部

技術情報流出をめぐる現状と課題について

講師：石村 徳彦 氏

大阪府警察本部 外事課 経済安全保障担当

※ 本セミナーは「**日欧バイオテック&ファーマパートナーリングカンファレンス2023**」の
関連企画です。カンファレンスは[ここでチェック](#) ▶▶ [大阪 欧州 カンファレンス 2023](#) [検索](#)

お問合せ

NPO法人 近畿バイオインダストリー振興会議 担当：国松・飯田・大嶋

E-mail：shoudankai2023@kinkibio.com

TEL：06-4963-2107

(大阪府事業受託機関)



第1部 医薬品創出において日本人が海外に展開していくためには？

近年の医薬品ビジネスの国際化において、日本の存在感が十分に高まっていない現状があると推察されます。

本講演では、グローバル企業が創薬やコラボレーションに取り組む際のアプローチ、考え方について説明し、日本人が海外展開を行う際の手法や留意点について紹介します。

第2部 技術情報流出をめぐる現状と課題について

日本の企業や研究機関等が保有する高度な技術情報は、組織の規模に関わらず、諸外国から常に狙われる可能性があります。また、デジタル化の加速を背景に情報の持ち出しも容易になっており、経済安全保障の強化は我が国の喫緊の課題となっています。

本講演では、経済安全保障の観点から、実際の技術流出事件の捜査過程で得た「スパイの手口」を取り上げ、企業活動を行う上での対策や注意点等についてお話しします。

プログラム

15:00-15:10	開会挨拶
15:10-16:05	第1部 ご講演・質疑応答
16:05-16:45	第2部 ご講演・質疑応答
16:45-16:55	大阪府からのお知らせ

対象

海外展開に関心のあるライフサイエンス関連企業・団体等

申込み

<https://kinkibio.com/informations/3373>

オンライン視聴お申込みの方には、
開催約1週間前になりましたら、
アクセス方法を連絡いたします（zoom）



定員

会場 100名
オンライン 500名

申込締切

8月18日（金）

参加費

無料

主催

大阪府

第2弾予告

9月7日（木）午後
読売新聞社によるプレゼンテーション能力向上セミナー開催予定

参考

日欧バイオテック&ファーマ パートナーリングカンファレンス 2023

詳細情報：<https://osaka-bio.jp/matchingsupport-2/eu2023/>

主な対象分野：創薬・創薬支援、再生医療、
デジタルセラピューティクス（予防、診断、治療に用いられるデジタル技術）

